

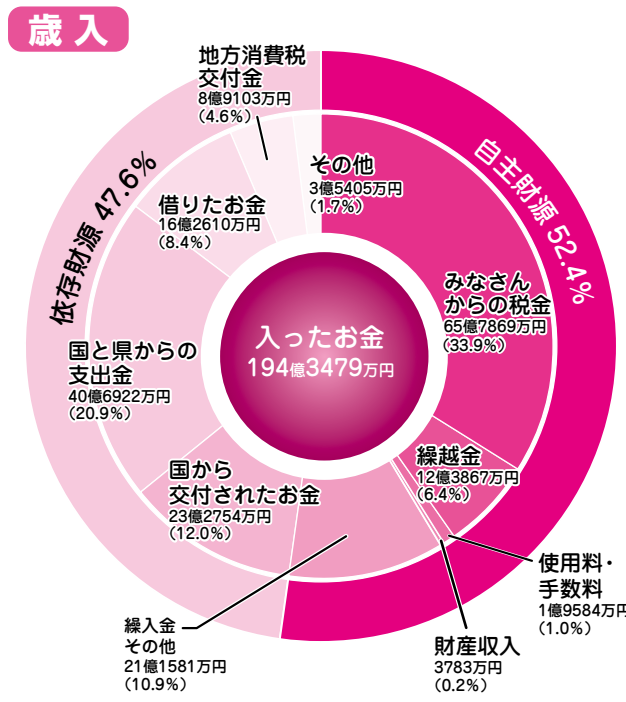
平成30年度一般会計決算を認定

歳入総額 194億3,479万円 歳出総額 185億8,102万円
 (前年度比8.0%増) (前年度比10.9%増)

実質収支額 (決算剰余金) 7億5,768万円

平成30年度一般会計の決算状況

9月定例会

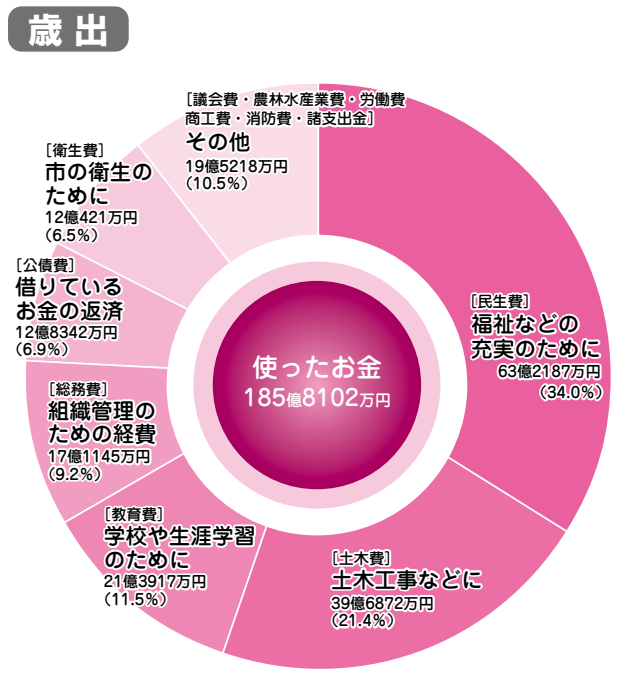


歳入・歳出

歳入では、自主財源の根幹を占める市税(みなさんからの税金)は、前年度比2.9%の増となりました。予算現額に対する収入率は100.6%。

歳出では、予算現額に対する執行率は前年度比5.4ポイント増の94.8%。人件費・扶助費・公債費(義務的経費)の歳出総額に占める割合は前年度比0.4ポイント減の40.5%でした。

令和元年9月定例会は、9月2日から9月26日までの25日間の会期で開かれました。幸手市長職務代理者提出議案は、平成30年度一般会計決算の認定・特別会計決算の認定・水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算の認定9件、条例案9件、市道路線認定・変更・廃止3件、令和元年度一般会計・特別会計・水道事業会計補正予算9件の合計30件と、報告5件でした。一般質問は、14人の議員が市政をただしました。審議の結果、いずれも原案の通り、認定、可決されました。



一般会計・特別会計の決算状況

一般会計・特別会計(水道会計を除く)歳入決算合計は前年度比0.4%減の322億9818万円。歳出決算合計は同比2.5%増の309億7685万円でした。

水道事業会計決算は収益的収入が11億4513万円。支出は10億1791万円。良好な経営となっています。給水量1mあたりの利益は、1円87銭でした。

**第2回臨時会報告
渡辺邦夫市長の退職願**

令和元年8月20日（火曜日）午後3時より第2回臨時会が開催されました。

議長より以下の内容で報告提案がされました。

本日、渡辺邦夫幸手市長より、明日8月21日をもって退職したいとの申し出を受けました。

本臨時会には、渡辺邦夫市長に對する不信任決議案が提出されることになっておりましたが、市長から退職申出書が提出されたことを受け、本決議案の提出議員および賛成議員に報告をいたしましたところ、不信任決議案については取り下げてくださいことになりました。また、市長の退職申し出が明日8月21日となっておりますことから、地方自治法第145条の規定により、議会の同意が必要のため、議会運営委員会に諮り本日の議題としたものです。議長報告を受け議会はこれに同意することに全会一致で決定いたしました。

**9月定例会
本会議案質疑内容
平成30年度幸手市一般
会計歳入歳出決算
(議案第40号)**

質疑

臨時財政対策債発行開始から現在までの発行および元利償還と交付税措置された総額をまた、当市の地方債発行総額に占める臨時財政対策債の割合。また、市債発行額残高について市長職務代理者に伺う。

答弁

制度の開始である平成13年度から決算年度である平成30年度までの臨時財政対策債の発行総額は136億1570万円です。次に、平成13年度から平成30年度までの元利償還金の総額は、元金分が45億6286万7019円、利子分が9億3810万8001円、合計が55億97万5020円です。平成13年度から平成30年度までの普通交付税の算定式において臨時財政対策償還費として基準財政需

要額に参入され交付税措置された総額は52億1967万1000円となっております。

市債残高は140億2532万円で、このうち臨時財政対策債は90億5283万2981円を占めております。率にいたしますと64・5%となっております。

質疑

市税と市民税の現状分析について市長職務代理者に伺う。

答弁

平成30年度の決算額は65億7868万9011円、平成29年度は63億9364万9282円、対前年度1億8503万9729円の増となっております。増加した主な要因といたしましては、固定資産税が約1億6342万円の増、その中でも、幸手中央地区産業団地分として1億2049万円の増収となっており、産業団地による影響が全体を押し上げています。

平成30年度その他会計の決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	6,482,193,815	6,380,255,768	101,938,047
後期高齢者医療特別会計	600,161,523	596,694,426	3,467,097
介護保険特別会計	3,736,549,121	3,574,070,258	162,478,863
農業集落排水事業特別会計	30,416,575	29,548,881	867,694
公共下水道事業特別会計	1,053,418,183	928,109,231	125,308,952
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	960,651,105	887,151,211	73,499,894
水道事業会計(収益的収支)	1,145,126,584	1,017,911,955	127,214,629

(議案第40号)
平成30年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対討論
大平 泰二

民間橋上駅舎の、総工費10億4156万6716円(当初計画12億4500万円)に対し国の補助は2億714万9294円、率にして19.9%となっています。当初駅舎補助率55%と市民には説明した責任を明確にすべきです。駅西口土地区画整理の年次計画では6年目までは23億1601万円と計画していました。ところが事業が実施に入ると事業費が31億479万円に膨らむことが明らかになりました。

今後の区画整理の財政負担として移転補償を市は残り113棟としていますが、移転補償費は概算で33億円必要となる見込みです。これに街路整備が加わると当初事業費の計画費75億7900万円を超えることとなります。今後は、街路事業に切り替え一般会計からの負担を減らすことを要求するものです。

賛成討論
小河原浩和

景気が穏やかに回復する中、幸手市の市税も1億8503万円、2.9パーセントの増となっている。3世代ファミリー定住促進事業や結婚新生活支援事業。民間保育園への建設費補助、市内全校での放課後児童健全育成事業など子育て世代への応援体制に力を入れている。また、検診や各種予防接種、ウォーキングを中心に健康づくりの推進。地域農業の振興のため、特別栽培米の販売促進、農地維持管理を行う団体への補助。商工会や市内企業と連携を図り、雇用の促進にも務めた。特に供用が開始された幸手駅や東西自由通路など、将来の幸手市発展を見据えた予算執行に対し賛成する。

賛成討論
小林 啓子

この度の平成30年度幸手市一般会計歳入歳出において実施された施策を見ますと、総務分野においては、公明党がかねてより政策提案を行ってきた高齢者の交通事故を減らすための運転免許証自主返納者に対し、タクシードライバの交付は高く評価するものである。民生分野においては、公明党の

政策提案による、障がいのある方が災害時に支援を受けやすくするために「災害時障がい者支援用バンドナ」が作成された。このバンドナは、昨年の幸手市防災訓練で初披露され、避難所にも配備された。バンドナの四隅には、「目が見えませんが」「耳が聞こえませんが」「体が不自由です」「支援が必要です」の文字が記され、どれかが見えるように着用して使う工夫がされ、大いに評価するものである。土木分野においては、東西自由通路においては、期日前投票所が設置され、投票率向上が期待される。依って、公明党は賛成討論とする。

(議案第61号)
令和元年度幸手市一般会計補正予算(第4号)

反対討論
坂本 達夫

令和元年度 幸手市一般会計補正予算に反対する立場から討論を行う。
庁舎建設基金の積立金は、今年3月に成立した幸手市庁舎建設基金条例に基づくものである。前

市長は、今年の2月に行われた庁議において、本庁舎は耐震補強工事ではなく、建て替え方針であると決定した。ただし、建て替え時期、位置、規模は未定。
一方、幸手市を取り巻く財政状況は厳しさを増している。30年度末の基金残高は10億円程度と、以前は30億円もあったものが最低ラインに落ちてきている。借金ともいえる地方債残高は、140億円に達し、稀にみる高さを維持している。庁舎の建て替え方針は、自らの財政状況を見て、判断する必要がある。今回、新市長が誕生するので、新市長の判断を待つて対応すべきとの考えから、この基金の補正に反対する。

第4回議会報告会のお知らせ

日時：11月17日(日) 午後4時～6時

場所：幸手市役所第1会議室

内容：議会報告(9月議会関係) 広聴会

皆様のお越しをお待ちしております。